

令和4年 第9回 教育委員会定例会議事録

招集日時 令和4年9月28日（水曜日）午後13時30分開会／午後14時40分閉会

招集場所 加賀市民会館2階 第2会議室

教育長 山田利明

出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、疎幹子、佐野明子

会議列席者 堀川事務局長、島谷政策官、宮永事務局次長、平塚次長兼学校指導課長、小茂出教育庶務課長、
上出生涯学習課長、出淵中央図書館長、左古教育総合支援センター所長、田中スポーツ推進課長、
梶谷教育庶務課企画官、中蔵教育庶務課リーダー

令和4年第9回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

○山田教育長 前回の教育委員会定例会から1ヵ月経ちまして、その間にあった事業について拾ってみました。この間の市民映画祭、山中節の全国コンクールがありました。あと科学作品展もありましたし、運動会、体育祭、先週は中学校体育連盟の新人大会がありました。これはロータリーの話になりますが、サッカー大会がありました。そのサッカー大会の開会式での私の挨拶は、今日は気温が35度まで上がります。熱中症には十分に気を付けてくださいと話しました。今から1週間ちょっと前です。今日の気温を見ると、皆さんジャケットを着ている方もいらっしゃるし、この10日ほどで随分と秋らしくなりました。今言ったような事業で、山中節とか科学作品展などはすべて3年振りになります。挨拶の枕詞に3年振りという言葉が付きそうなくらい3年振りということが言われました。運動会や体育祭も見てきましたが、子ども達が本当に一生懸命で嬉しそうに躍動している姿を見ることができました。昨日、湖北小学校の計画訪問があったんですが、運動会を見た保護者の手紙が廊下に掲示してありまして、子どもの成長を見ることができて嬉しかった、学校に感謝するという言葉が書かれていました。やはり保護者にとっても子どもの成長を見る良い機会が行事であると思いますし、また行事でしか育てることができないような連帯感とか、そういうような力は行事でしか育たないんだなと、子ども達の幸せな様子を見ていてそう思いました。一方で、ある中学校は3つの団があるんですが、その団長が3人ともコロナで当日お休みということで、コロナはやはり去年と比べて子ども達が罹患している人数が圧倒的に多いので、気を付けていかなければいけないなと思います。あと校長先生方と話をしていて、運動会とかいろんな行事の在り方も随分と変わったなと思いました。練習をなるべくしなくてもいい競技、全体で揃えるような行儀とか行列とか歩き方とか、そういうような指導はしなくていいような競技に変えましたよということで、行事の見直しができたのはコロナのおかげかなと思いますし、これからもこれはコロナが過ぎても続いていくんじゃないかなと思っています。これから文化祭もありますが、文化祭の在り方もこれに合わせて変わっていくんじゃないかなと思っています。

あと、中体連の競技をすべて見てきたんですが、子ども達は本当に喜んでやっていました。

ですが、野球では去年はひとつの学校でチームが組めないで、合同で参加していたチームがありました。今年はある学校は9人ギリギリで、メンバーチェンジなしという体制でやはり厳しそうでした。子どもが本当に減っている中でどのようなかたちで、特に集団競技、人数が揃わないといけない競技をどんなかたちで維持していくのか。子ども達がギリギリでやるのではなく、みんなでたくさんの人数でやるのが部活動のいいところでもあると思うので、この部活動の在り方を、文部科学省の方では来年から3年間かけて土日は地域に移行していくと決まりました。将来的には文化部も併せてすべての活動を地域に移行していくという方向性だと思いますけれども、試合を見ていて、加賀市の場合は人数的に、物理的に維持するのが難しい状況になっているな、在り方を根本的に考える必要があるのかなと思いました。

最近は日の入りがすごく早くなりました。中学生が帰る時間と日没の時間が重なって、1年で1番交通事故が心配な時期かなと思っています。去年は加賀市の交通安全団体が寄付してくださったLEDのたすきを使って、子どもが遠くから来るのが分かっていいなと思ったんですが、まだまだ定着していないような感じがします。もう一度校長先生方に啓発を、特に自転車の生徒に付けてもらうように指導をしていただきたいということをお話しようと思います。どんなに良い行事、教育活動をしていても、子どもの安全が脅かされたらいけないので、交通安全を十分に気を付けていきたいと思っています。

それでは議件に入ります。本日は審議事項は1件です。議案第32号、個人情報保護審査会への諮問について平塚次長お願いいたします。

● 議案第32号 個人情報保護審査会への諮問について
平塚次長 資料に基づき説明

○山田教育長 実はこの諮問をすることについて、同意を得なければいけないんですが、11ページをご覧くださいと答申書があります。ですから後からの承認になるんですが、時間的な関係とか、他の課との関係で、今日このあとご意見やご質問をいただいて了解を得たあとで、その答申についての説明をさせていただくかたちで進めてまいりたいと思います。

何かご質問等ございますか。

○山下委員 デジタル庁の事業であるということは、デジタル庁自体にも実施事業期間があると思います。それから東和中学校において、この事業に参加、そしてこの期間は閲覧させるというような、事業期間の明記がまず必要であると思いましたので質問をさせていただきました。その辺はいかがでしょうか。

○山田教育長 平塚次長、お願いします。

○平塚次長 この実証事業については、今年度いっぱい期間となります。システムの構築については今進めているところございまして、10月の11、12、13日の3日間に分けて各学年ごとに保護者への説明会を実施することになっております。その際1、2、3年生に情報教育も含めて公開授業を行い、その後に保護者への説明会という、そういう流れで今準備を進めております。それで同意を得られた方について実証を始めるわけですが、実際の実証期間というのは1月から3月までの3ヵ月程で、今年度いっぱいということになります。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 この実証事業の目的はわかったんですが、これはとりあえず東和中学校だけに先導的に実証するということですよ。東和中学校だけではなくて、加賀市内の他の小中学校でもいろんな課題が出てきていると思うんですけど、この実証実験を得た上で今後、市の教育委員会としてはどのようなかたちで市内全域に広めていくのか、あるいは実験で終わるのか、今後の見通しを教えてください。

○山田教育長 平塚次長、お願いします。

○平塚次長 この実証事業については全国で7自治体の実証に参加しておりまして、それぞれ今年度この実証をするわけですけれども、その実証の成果を踏まえた上で、来年度からデジタル庁自体もこの事業を全国に広げていくのか、あるいは課題を整理してということになるのか、その辺りのところはまだ確定はしておりません。加賀市としては実証事業に参加しておりますので、この成果を活かして他の学校にも広げていく値打ちがあるものならば、ぜひそのようなかたちで広げていきたいと思っておりますが、ただ同意を得るという条件もありますので、そのあたりのところも含めて課題は多々あると思われ、予算化もありますし、来年度からすぐに加賀市全体でということについてはまだ不透明というか、見通しについてはこの場で申し上げることはできないかなと思っておりますが、実証の結果を踏まえて判断していきたいと考えております。

○篠原委員 やはりこのような実証をやりっぱなしということではなくて、色々な問題の早期発見が狙いだと思えますし、それを今年やっていただいた上で、加賀市の中でもいろんなことを抱えていらっしゃるご家庭があると思うので、そのようなことにもこれをきっかけにして、早期発見に資するような事業に取り組んでいただけたらいいなと思えます。

○山田教育長 他、ございませんか。

○棟委員 たぶんちゃんとできたらすごく良いことになるんだろうと思うんです。問題はいろいろあると思うんですが、ひとつは情報漏洩、流出とか、もちろんそういうことにはすごく気を付けてされると思うんですけど、子どものことだけに漏れたときに本当に怖いというか。

○山田教育長 平塚次長、お願いします。

○平塚次長 今回の棟委員のご指摘の通りでして、非常にセンシティブな事業ですので、今回、加賀市長と教育長の連名で加賀市個人情報保護審査会の方に諮問をしたということで、後ほど答申について触れますが、この中では2時間ほどの会議だったんですが、委員の方々からも様々な質問が出て、特に情報漏洩とこの事業のリスクと効果を比べたときにどうなのかといった議論もなされました。

○山下委員 昨日たまたまオンラインでGIGAスクールのものがありまして、その時にソニーの方が今それぞれの学校で、接続の方向性についてセキュリティが必要だという話がありました。8ページの図を見ますと、特定教員のスマホ、タブレット、PCそしてシステム運用事業者のPCがネット接続されていないわけなんです。情報提供の方法についてどのようなかたちにするのか、その辺を少し教えていただきたいと思えます。

○平塚次長 8ページの図で申しますと、校務情報、学習情報、行政情報それらがデータベースの中に一旦入ります。そのデータベースにアクセスする権限が付与された者だけが、その判定ロジックによって支援が必要だという生徒についての情報を閲覧することができる、そういう仕組みになっております。

○山下委員 これは接続がバツではなくて、特定の方がパスワード等々認証により入ることができるというかたちですね。

○平塚次長 はい、そうです。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

議案第 32 号、個人情報保護審査会への諮問について同意される方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で諮問されることに同意いたします。

それでは続けて平塚次長お願いいたします。

● 答申書について

平塚次長 資料に基づき説明

○山田教育長 答申について説明がありましたが、これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員 付帯意見についてですが、リスクは絶対にゼロにはならないと思いますし、保護者さんへの説明においては、リスクよりもメリットの方を大きく主張して、こういうことをしますと。リスクはゼロにはなりません、ほぼゼロになるようにという方向でメリットをいっぱい前に出していきたいと思います。

○平塚次長 ありがとうございます。まさに今回は同意をいかにたくさん取れるかというのが、実証結果の影響にもつながってくるとおわれまして、10月の中旬に開かれる保護者説明会では、山下委員のご指摘にあったようなことを十分意識して丁寧な説明をしてみたいと考えております。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

以上で、議案第 32 号、個人情報保護審査会への諮問について承認されたということでございます。

以上で審議事項は終わります。続いて報告事項に入ります。報告第 37 号、令和 4 年 9 月加賀市議会定例会の答弁について小茂出課長お願いいたします。

● 報告第 37 号 令和 4 年 9 月加賀市議会定例会の答弁について

小茂出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 38 号、令和 4 年度全国学力・学習状況調査の加賀市結果概要について平塚次長お願いいたします。

● 報告第 38 号 令和 4 年度 全国学力・学習状況調査の加賀市結果概要について

平塚次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 昨年度と比べたら全般的に良くなってきているという総括だということでお伺いしました。子どもが違いますので、単純な評価というのは難しいと思いますけれども、前年度と比べて良くなってきたことは、大変素晴らしいことだと先生方に改めてお礼を申し上げたいと思います。ひとつお聞きしたいのは、例えば今の小学6年生の子が4年生のとき、あるいは中学3年生の子が中学1年生のとき、そういう経年比較をしたのかどうかということです。経年比較をした上で学力が向上したというデータがありましたら教えていただきたいと思います。

○山田教育長 平塚次長、お願いします。

○平塚次長 まず中学生についてなんですけれども、これまで加賀市においては、中学生の学力向上について課題があるということで認識しておりまして、そこについて様々な努力や取り組みを現場の方でもしてまいりましたし、教育委員会としても支援をしてきたわけですけれども、今のご指摘のように小学校時代からの経年変化を見ていくと、中学3年生については実は小学校のときにも大変良好な結果が出ていたというふうに捉えられます。学年によって特色はありますのでその辺りはなんとも言えませんが、小学校のときに身に付けた基礎基本の学力を中学校で落とすことなくキープできているというふうに教育委員会としては捉えておりますし、今年度の中学3年生の素晴らしいところは、質問調査において自己肯定感についても主体性についても思いやりについても、県、全国と比較して大変良好な結果が出ております。教育委員会としても質問調査において、大変良好な結果が出ている学年については、やはり学力についても良い結果が出るという認識でございましたが、今年の中学3年生の結果からそれが明確になったということを思っておりますし、小学校で培ったものがしっかりと義務教育9年間継続してできたというふうに認識しております。小学6年生については、こちらもちょうど同じでして4年生のときの結果を見ても、良好な結果でなかった部分もありますし、ですが小学6年生になり伸びている部分もありますので、今後義務教育9年間を捉えて、さらに中学生になっても学力向上を図っていけるように、もうすでに4月の学力調査を受けて、各学校では6年生の弱点課題を捉えて、そこについての支援を講じておりますので、上手く中学校へつなげて、小学6年生の子ども達についても伸ばしていけるように支援をしていきたいと考えております。

○篠原委員 経年比較が非常に大事だと思います。昨年と上がった下がったという単純な比較ではなくて、どういうふうな流れでどういうふうに発達していったのかということ各学校で分析していただきたいと思っておりますし、教育委員会の方でも掴んでいただきたいと思っております。先日の新聞に石川県のどこの市の結果がいいとかが出ていましたが、それよりも大事なことは、子ども達が学んでいることをどれだけ把握しているか。どれだけ意欲をもって取り組んできているかということについては、先生方の努力を認めてあげたいなと思っております。ただし一般の保護者の方は新聞なんかを見ると、加賀市はなんだと思われる方もおいでと思うんです。そういうことに関しても各学校でも十分に説明をしていただきながら、点数の単純な1点や2点とかではなくて、お子さんがどのような発達を遂げているのかというのをきちんと掴んで、指導の個別最適化を図っていくような取り組みを、併せて教育委員会の方からも各学校の方にご指導をお願いしたいと思っております。

○平塚次長 今のご意見についてですが、加賀市ではこの学力調査の結果をホームページでも公開しているわけですけれども、それを踏まえて各学校ではまなび通信というものを、各学校で名称は異なるんですが、そちらを作ってもらってまして、それぞれの学校の子ども達の良

かったところ、課題の部分、今後良くしていくためにこんなことを一緒にやっていきましょうとか、学校ではこのような取組みを進めていきますということを、保護者向けに丁寧なお便り通信を作って配布しておりますので、そのような取組みも今後継続していきたいと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 ICT環境について50%という全国平均を大きく上回る使用がありますが、それについて先般、中学校の方に計画訪問に伺いましたときにも、やや使わされている感も見えるわけなんです。その辺でそれが実際うまく授業に使われているような、その辺のアフターケアというかフォロー、確認も必要なのかなと思います。これは意見でございますし、教育委員会、学校指導課としてもそういうことは考えていらっしゃると思います。

それから先ほど平塚次長がおっしゃった通り、以前から自己肯定感や自己有用感は学力につながる、やってみよう、やろうという気力を起こすと思っておりまして、本当に実際に結果に表れていて有難く思っております。特に前回、小学校が自己肯定感が非常に低かった気がするんですが、大きく自己肯定感が伸びた原因というか、何かきっかけがあったのか、その辺おわかりでしたら教えていただきたいと思います。

○山田教育長 平塚次長、お願いします。

○平塚次長 山下委員も学校訪問に出られて、学校の方の説明を聞いて感じられることがあるかなと思うんですが、それぞれの学校で市の働きかけや研修もあるんですが、この自己肯定感、自己有用感、自己効力感といった感覚を育てていくことが、なにより子ども達の満足度、幸せを高めていくため、ひいては学力向上につなげていくために最も大切な施策であると、その土台を作っていくことが最も重要であるということは教育長も常々、様々な講話の中で先生方にも伝えられておりますし、それが加賀市全体に広く浸透してきたなということもあり、各学校では自己肯定感、自己有用感を育てるための様々な取組みをしております。例えば昨日の学校訪問でも、友だちのいいところ見つけたよとか、友達にありがとうと伝えたいことというような、そういった掲示のコーナーがあったりとか、各クラスでそういうことについてお互いに伝え合う時間を作ったりとか、学活等の時間に団結すること、協力してやることの良さということに焦点を当てた活動に取り組まれていたりとか、そういったこともきちんとPDCAサイクルを回して検証、評価をしながら、また調査結果を十分に分析しながら、うちの学校はこういう部分について課題がある、こういう部分は伸びてきたねと、先生方も検証しながら取組みを継続して進めてきた成果が現れているものだと思っております。それから授業の中でも生徒指導の3機能を活かすというほとんどすべての小中学校で取り組まれている取組み、授業の中で子ども達の自己有用感を育てていくんだという認識が広がってきているのも成果が現れてきている要因のひとつだと考えております。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第39号、外国語指導助手（ALT）の新規採用について平塚次長お願いいたします。

- 報告第39号 外国語指導助手（ALT）の新規採用について
平塚次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第40号、「加賀温泉郷マラソン2023」の開催について田中課長お願いいたします。

- 報告第40号 「加賀温泉郷マラソン2023」の開催について

田中課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員 来年も開催できればいいと思うんですが、例えば金沢マラソンは本年も開催されるんですが、オンライン開催もされております。来年どういう状況かわかりませんが、追加施策としてオンライン大会というのも、もう申込書も出来上がりますし、これは他のランネット等の業者とも協働しなければならないと思いますが、そうすることによって加賀温泉郷マラソンに遠方で来られない方が参加したよという方が増えて、少し興味を持っていただけるんじゃないかと思うので、その辺も何かしら検討をいただければ今後の大会、それから今後の人数の拡大にもつながりますし、加賀温泉郷をアピールすることができるんじゃないかということ意見を申し上げたいと思います。

○山田教育長 田中課長、お願いします。

○田中課長 事務局としましてもPR等にもつながりますし、オンライン大会を開催することによって、加賀市民のマラソンをはじめきっかけにもつながって、それがそのまま加賀温泉郷マラソンの実際の参加にもつながってくるものかと思って、これまでも検討はしているところなんですけど、今年度は中止になっております寛平ナイトマラソンというものがあまして、この事務局の中の人員でこのふたつのマラソンを開催していかないといけなくなると、非常に負担が大きいところで、どちらかひとつに絞ったかたちでもう一方をオンライン化することが可能であれば、理想的なのかなと考えているところではございます。寛平ナイトマラソンも全国から来てもらえるものでありますし、観光都市加賀市としては欠かせないものなのかなと思っております。今後の検討課題とさせていただきますと思っております。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

以上で報告事項は終わります。続いてその他に入ります。令和4年度加南地区教育委員会連絡協議会研究大会の開催について、令和4年度石川県市町教育委員会連合会研究大会について、併せて小茂出課長お願いいたします。

- 令和4年度加南地区教育委員会連絡協議会研究大会の開催について
- 令和4年度石川県市町教育委員会連合会研究大会について

小茂出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員 加南地区の発表について私がさせていただくことになりました。ありがとうございます。どういうお話をするかというのを、まだ未決ですが、教育大綱の新しいものについても入っていかなければいけないと思いますので、定例会が終わってから結構ですので、委員

さん残って、こういう話でどうかなというのを少し共有ができればなと思っておりますので、よろしければお願いいたします。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きましてデジタル図書館について出淵館長お願いいたします。

● デジタル図書館について
出淵館長 説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 加賀市立図書館の貸出カードがなくてもというお話ですが、これを機会に持っていない先生やお子さんがいらしたら、図書館の職員が出張で行って、図書カードを作っていただくような取組みもぜひ行なっていただけないかなと思います。子ども達にはデジタルも大事ですが、明らかにデジタル図書よりも生の図書の方が蔵書数も多いですし、生の本の良さもものすごくありますので、それに触れていただく機会にもなると思いますから、それをきっかけにして、ぜひ市立図書館の貸出カードを作っていただくような取組みもぜひ行なっていただけないかなというお願いであります。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは以上で議件はすべて終わりましたが、この際、委員の皆さまから何かございますか。

○篠原委員 昨日の新聞にも載っていましたが、金沢市教育委員会が望ましいPTAの運営方法を示した通知を出されました。それを受けて加賀市では今後このようなものを出す方向があるのかということについてお聞きしたいです。

○山田教育長 平塚次長、お願いします。

○平塚次長 PTAについては今、様々な曲がり角にきているという認識は持っております。加賀市の場合は、来年度4月からコミュニティスクールをスタートさせることで考えておりますので、そのコミュニティスクールをスタートさせる中で、PTA活動についてもその在り方を再考していく、学校運営協議会、学校地域共同活動の中でも話題にしながら、PTAの役割はなんなのか、学校運営協議会の役割はなんなのか、コミュニティスクールの役割はなんなのか、それぞれの役割を明確にしながらPTA活動についても、保護者の負担感等もあるでしょうし、棲み分けしながら子どもを支える、地域を支える活動を考えていければなとふうに個人的には考えておまして、具体的には学校運営協議会をうまく活用していければなと思っております。

○山田教育長 市PTA連絡協議会の役員の方と何回かお話している中で、加賀市では任意に所属する、PTAに入る入らないを選択できることの声というのは聞いておりませんが、こういった金沢市のことが報道されましたら、おそらくこれからそんなことを思っている方たちが声を出しはじめる可能性はあるかなと思っております。ただ加賀市では今までそういったお話は聞いていないということです。

他、ございませんか。

○棟委員 私もPTAをやっていたんですが、構造的に変えるのはやはりとてもパワーがいると思います。話し合いをしないといけませんよね。私の場合だったら、やってくれないかと言われて、やる時は前は何をしていたのと、その通りにやっておくという感じでやっていたので、

どっちも大変だと思うんです。田舎で地域の流れがあって、割とみんな知っているみたいなどころもあるので、そのままやっていたのも大変だけど楽だったというものあります。変えるのも大変だと思います。コミュニティスクールと一緒に変えるのはいいことかもしれないですね。

○山田教育長 今わかるのはそのくらいですね。

他、ございませんか。

○篠原委員 何度かお聞きしているんですが、加賀市の小中学校でデジタル教科書をどうかたちで採用しているのか、実態を教えてくださいなと思います。これも先日、新聞を見ていたら石川県内では能登地区のある町が採用したと書いてありました。加賀市は採用していないのかなと思ったので質問させていただきました。

○山田教育長 平塚次長、お願いします。

○平塚次長 デジタル教科書については、教師用のデジタル教科書と学習者用のデジタル教科書があるのをご存知かと思いますが、教師用のデジタル教科書については、教科によって差はあるんですが、ほぼすべての学校で採用して使っております。学習者用のデジタル教科書については、市として予算化して全学校に配置しているわけではございません。文部科学省の方から実証事業がありまして、そこについて今各学校で実証的に使って、アンケート等にも答えながらということで、使用している状況でございます。

○篠原委員 文部科学省が1教科だけ先導的に使ってもいいという話がありましたよね。各学校で1教科はデジタル教科書を使っている実態はあるわけですね。

○平塚次長 はい。

○篠原委員 わかりました。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは次回教育委員会定例会日程について小茂出課長お願いいたします。

● 次回教育委員会定例会日程について

小茂出課長 説明

○山田教育長 それでは10月31日(月)曜日、14時からということで予定に入れておいてください。

それでは以上で第9回教育委員会定例会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。